

道端の花

Kiêu Lương Gia Hòa (キュウ ルン ジャ ホア)
教育学部 交換留学生 ベトナム



毎日、自転車で学校に行っているが、国際交流会館から和歌山大学にかけて、花が一杯ある。公共の場所や交差点や道などで、どこでも花がある。ベトナムと比べると、日本の道には本当に花がたくさんある。様々な色や種類がある。初めて見た時、偽物かなと考えた。ベトナムではほとんど雑草ばかりであるから、きれいな花を見た際に、少しびっくりした。野の花をはじめ、花を見ると、いい気持ちになる。

一般に、日本は桜の国として知られている。しかし、桜以外にも色々な花もある。例えば、五月の頃、和歌山大学の校庭で、ツツジという名前のきれいな花が満開である。晴れた日はこの花がもっと美しいように感じる。一方、学校に行く途中で、チューリップが見えた。オランダの国花まで日本で栽培することができる。ベトナムの天候では、ダラット市以外、ほとんどの地域では栽培できない。

もう一つの特別な花はタンポポである。野の花だから、どこでも見られる。日本人の友達によると、黄色のタンポポは日本の種類だが、白いタンポポは外国から渡来したという。面白いのは日本で白いタンポポは綿毛と呼ばれるが、ベトナムではタンポポと言われて、黄色のタンポポより有名な花だと思う。私の国ではタンポポの綿毛にはロマンチックなイメージがある。だから、たくさんの映画でタンポポの映像が使われている。最近、風の強い日の夕方、坂を歩いていた時、私はタンポポをちぎり、吹いてみた。その瞬間、本当にいい気持ちだと感じた。



私が一番印象に残っている所は、学校に行く坂である。和歌山大学に通う最初の日、駐輪場で自転車を置いた後、坂を歩き、道端で紫の花を見つけた。次の週に、蘭のような花があった。

そして、最近、黄色の花が咲いている。実は昔、先輩のフェイスブックでこの坂が掲載されており、今回自分で体験できて本当に楽しかった。野の花は自然の中にあつてこそ、美しいと思う。学校に行った時、その花を見る度に、くたくたがすぐに消えた。だから、学校に行く坂が好きなのである。



野の花だけでなく、日本人の家の前には、色々な花が栽培されている。日本人は花が好きだと信じられている。なぜなら、日本の華道はとても有名な芸術だからである。ストレスのたまった仕事の後で、花を見ることは精神をリラックスさせると思う。

毎日、学校に行く時、色々なきれいな花が見られるから、遠い所を探すことはないと思う。日本は四季に富んでいて、もっと色々な花を見ることができると信じている。日本は花の天国だけあって、繁華街から奥地にかけて、どこでも花が一杯である。夏はもうすぐだ。夏の花はどんな花があるだろうか。私はとても楽しみにしている。